

令和 3 年度 地域リハビリテーション人材育成研修会 シラバス

◎カリキュラム総時間 2430 分

I. 地域共生社会に求められるリハビリテーション職種（675 分） 7 月中旬～9 月

◎受講生の到達目標

- ・地域 / 地域共生社会とは何か考えを述べることができる。
- ・様々なライフサイクルの中で自助・互助・共助・公助が絡み合うことの大切さを説明することができる。
- ・地域共生社会の実現に求められているリハ職像を述べるができる。
- ・様々な制度や社会情勢の中で、リハ専門職が活躍していることを知っている。

■内容および講師

タイトル	時間	講師候補（所属・氏名）
①滋賀県立リハビリテーションセンターのこれまでの動きと研修の狙い	45 分	滋賀県立リハビリテーションセンター 事業推進係長 田所 愛理
②地域共生社会の実現に向けた動きと方向性	90 分	政策研究大学院大学 小野 太一 氏
③地域リハビリテーションの基本理念と地域共生社会に向けて地域で求められるリハ職	90 分	神戸学院大学 備酒 伸彦 氏
④地域共生社会の実現に向けて先進的な取り組みを行うリハ職の実践 -リハ職の視点を地域社会に活かす- (子ども分野) (就労分野) (高齢分野) (スポーツ分野) (産業保健分野)	各 90 分 5 コマ	・NPO 法人はびりす 鹿野 昭幸 氏 (PT) ・就労支援事業所ハートスイッチ 千葉 由香里 氏 (OT) ・備前市保健福祉部 介護福祉課 岸本 直子 氏 (OT) ・大阪府立大学 奥田 邦晴 氏 (PT) ・関西労災病院 治療就労両立支援センター 高野 賢一郎 氏 (PT)

II. 地域リハビリテーションを推進する地域資源とその現状（720 分） 9 月～11 月

◎受講生の到達目標

- ・滋賀県の医療福祉、障害福祉の仕組み（理念・法律・サービス・地域での動き）について概要を知っている
- ・地域共生社会の実現に向けて活動する医療福祉、障害福祉の取り組みについて知っている

■内容および講師

タイトル	時間	講師候補（所属・氏名）
①障害福祉を取り巻く法制度の概要基礎—共生社会に向けて—	90 分	滋賀県障害者自立支援協議会 事務局長
②障害福祉分野における県内のリハ職の実践事例	各 45 分 2 コマ	・びわこリハビリテーション専門職大学 川崎 浩子 氏 (PT)

		・株式会社ジッセント・シップ 坂梨 仁勇 氏 (OT)
③滋賀県の障害福祉における政策とリハビリテーション職への期待	40 分	滋賀県健康医療福祉部障害福祉課
④滋賀県の医療福祉における政策とリハビリテーション職への期待	各 40 分 2 コマ	・滋賀県健康医療福祉部医療福祉推進課 ・滋賀県健康医療福祉部健康寿命推進課
⑤見学実習	210 分 2 コマ	滋賀県内各施設 * 医療福祉、障害福祉に係る事業所等

Ⅲ. 地域リハビリテーションの推進に求められる能力 (360 分) 11 月～12 月

◎受講生の到達目標

- ・地域リハビリテーションを支える支援者の専門性や価値観を説明できる
- ・リハ専門職の専門性を他の支援者に理解できるように説明することができる
- ・自らが勤める地域にどのような地域資源があるか調べ、述べることができる
- ・地域診断に必要な能力を述べることができる

■内容および講師

タイトル	時間	講師候補 (所属・氏名)
①リハ専門職に求められる多職種連携に必要な能力	180 分	吉備国際大学保健医療福祉学部 京極 真 氏
②リハ専門職に求められる地域評価・診断の基礎	180 分	東邦大学健康科学部 上地 賢 氏

Ⅳ. 地域リハビリテーションの推進に向けた実践 (675 分) 1 月～2 月

◎受講生の到達目標

- ・包括的に“人”や“地域”を見る視点を再確認することができる
- ・リハ職が自らの視点を他職種に理解してもらえるような説明が行える
- ・地域での課題を解決するための方策を立案できる
- ・これから地域でリハ専門職に求められる能力を述べ、自らのこれからの行動立案が行える

■内容および講師

タイトル	時間	講師候補 (所属・氏名)
①地域リハビリテーションマネジメント基礎演習	315 分	神戸学院大学 備酒 伸彦 氏 * ファシリテーター (修了生)
②地域リハビリテーションマネジメント応用演習	360 分	神戸学院大学 備酒 伸彦 氏 ・コメンテーター 滋賀県健康医療福祉部健康寿命推進課職員 人材育成協議会委員など